

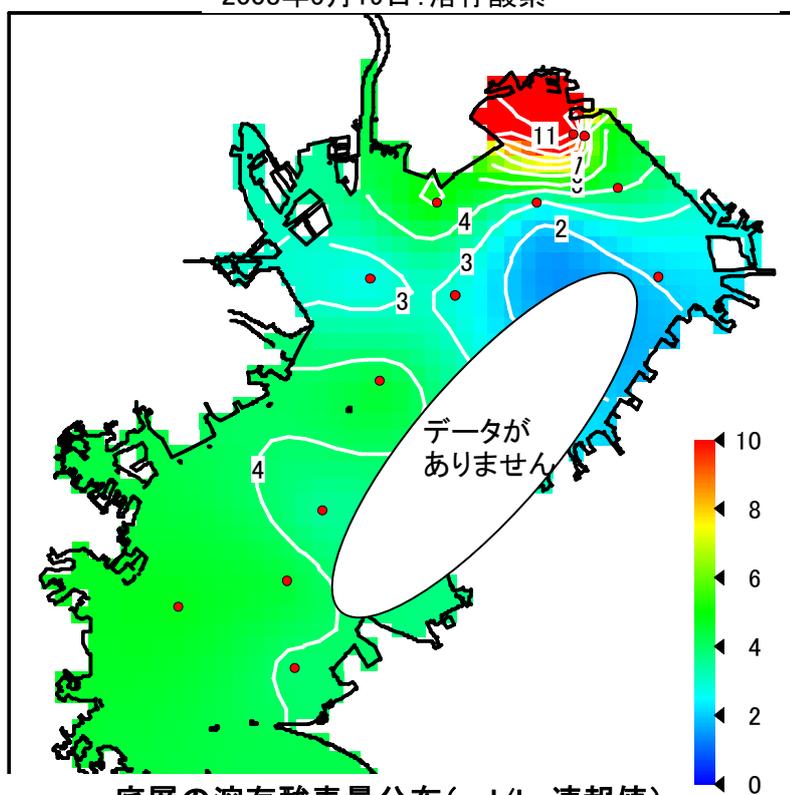
# 貧酸素水塊速報 (2008年)

○ 千葉県水産総合研究センター(編集) ○ 協力:海上保安庁海洋情報部  
 神奈川県水産技術センター 協力:千葉県環境研究センター  
 内湾底びき網研究会連合会(千葉県) 協力:東京都環境局  
 協力:第三管区海上保安本部

貧酸素水塊は、内湾中央部から千葉側に分布していましたが、前回(5月7日)より規模は縮小していました。船橋地先は、濃い赤潮により、底層でも溶存酸素が過飽和状態となっていました。

濃い赤潮がほぼ全域に認められ、透明度は1.0~1.5m、水色は赤褐色でした。植物プランクトンは海域により組成が変わっており、中央部のアクアライン以北は微小藻類と珪藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)、中央部のアクアライン以南は微小藻類と渦鞭毛藻類のケラチウム(*Ceratium furca*)、千葉側地先は珪藻のユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)とユーグレナ藻がそれぞれ優占していました。

2008年5月19日:溶存酸素



底層の溶存酸素量分布(ml/L:速報値)  
平成20年5月19日観測分

酸素飽和度と溶存酸素量の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5ml/L	貧酸素水
30~40%	2.0ml/L	魚類に影響
	1.5ml/L	貝類危険
	1.0ml/L	
10%	0.5ml/L	

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。  
 千葉県水産総合研究センターのホームページからご覧ください。  
 携帯電話は<http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/cbmobile.html> からどうぞ。